

行田市未来会議(第4回 市内活動団体) 開催結果

対象者 市内活動団体 18 名 ※2 グループに分かれて意見交換を実施

(A グループ)

【参加者】長野保育園保護者会1名、持田保育園保護者会1名、民生委員・児童委員連合会 5 名

(B グループ)

【参加者】浮き城シニアクラブ連合会 3 名、行田市身体障害者福祉会2名

行田市文化団体連合会2名

日 時 令和6年3月 26 日(火)14 時00分～15 時 10分

場 所 産業文化会館 2 階 第 2 会議室

意見1 行田の良いところ

(A グループ)長野・持田保育園保護者会、民生委員からの主な意見
・田園風景など緑が多く、季節感がある風景を楽しむことができる。
・3 歳未満保育料無償化は、子育て世帯への支援としてとてもありがたい施策である。
・歴史遺産など観光資源が豊富
(B グループ)シニアクラブ・身体障害者福祉会・文化団体連合会からの主な意見
・自然に恵まれているが、山や海がなく平坦で災害が少ない。
・都心からの距離や災害が少ないことから、都内の会社や機能のバックアップとして良い。
・スーパーが多く買い物に便利

意見2 行田の課題

(A グループ)長野・持田保育園保護者会、民生委員からの主な意見
・歴史遺産など観光資源が多いが、1 日市内で過ごせる工夫がない。
・近隣市は道の駅など建設中であるが、行田市は「さきたまテラス」など施設として中途半端な施設という印象がある。
・遠方から友人を招く際、集合場所を JR 吹上駅にしてしまうなど、JR 行田駅や秩父線行田市駅を活用するための快適な交通網が確立されていない。
・子どもたちが安心して外で遊ぶことができない。
・花手水ライトアップイベントは良いイベントであるが、その後に食事などができる場所がない。
・やすらぎの里や図書館など施設が分散されており、通いづらい。
(B グループ)シニアクラブ・身体障害者福祉会・文化団体連合会からの主な意見
・商業施設にしても足袋蔵にしても、人を集められるように集約化されていない。
・観光でお金を落とす仕組みになっていない。
・スーパーは多いが、大型店が少ないので休日は市外にってしまう。
・コミュニティバスが市外に行かず不便
・デマンドタクシーの乗降場所が少なく不便
・やすらぎの里は良い施設だが街なかにあればもっと良かった。

意見3 望ましい将来像

(A グループ)長野・持田保育園保護者会、民生委員からの主な意見
・だれもがずっと住み続けたいと思うまち
・若者の就職先となるような魅力的な企業を誘致→若者の移住定住につながる。
・こどもを大事にするまち→こどもたちが外に出て遊べる公園や児童公園が多いまち
・転出した若者が戻ってきたいと思うまち→U ターンの促進
(B グループ)シニアクラブ・身体障害者福祉会・文化団体連合会からの主な意見
・障がい者に合わせたバリアフリーを徹底したまちづくり→介護産業の誘致に繋がる。
・若者に魅力を感じてもらえるまち
・行田には昔からの財産があるので、これを大事にしつつ新しいことにチャレンジできるまち
・若い人と高齢者がともに活躍できる文化のまち
・高齢者に優しいまち
・地域での生涯学習活動が盛んで、誰もが豊かな人生を送れる質の高いまち
・安全なまち

意見4 施策や事業の提案

(A グループ)長野・持田保育園保護者会、民生委員からの主な意見
・廃校した学校を利活用したこどもの遊び場の整備
・歴史遺産など観光資源が豊富なため、それぞれをつなげる「はとバスツアー」の実施
・カインズなどの人が集まる商業施設の誘致
・水城公園の池にボートを浮かべるなど、1 日遊べる施設にしたほうがよい。
・過疎化した商店街を図書館にした事例があるので参考にしてもらいたい。
・武蔵野市の児童館はとても充実しており参考にしてもらいたい。
(B グループ)シニアクラブ・身体障害者福祉会・文化団体連合会からの主な意見
・高速道路へのアクセスを改善して野菜を都内に出荷→働く場所が増える。
・産業道路沿いはポテンシャルがあるので開発してほしい。
・映画のロケ地としてPRするのが良い。

以上